

# 大志

山岡中学校だより

令和7年度 6月末号



恵那市山岡町下手向 182-4 TEL 26-6882

## しゃべって勉強すると楽しいから賢くなる

校長 後藤 琢磨

中間テストに向けて、3年生が勉強会をしていました。数学の計算、英語の文法など、基本的な問題を先生が黒板に書いて、みんなで一緒に考えていました。適当に答えたのに正解することもあり、「こんな楽な感じでとにかく解答欄を埋めていけばよいのか。」とテストの受け方を少し前向きに理解した子もいるようです。



勉強をやる気にさせる土台が、情緒の安定と知的好奇心です。この2つをバランスよく保つ方法が、しゃべって勉強することです。「いやいや、一人で静かに集中しないとダメでしょ。」という声もありますが、それは次の段階です。有名大学に通う多くの学生は、小中学生の頃、テレビの音がするリビングで、家族としゃべりながら勉強をしていたそうです。

それを踏まえて学校では、情緒が不安定な子、授業が淡々と進むと眠くなる子、どんどん一人で進みたい子など、様々な生徒がいます。どうすればよいでしょうか。

私がこれまで見てよかった授業は、テンポよく早く目標に到達します。すると残りの時間、じっくりと自分の言葉でまとめたり、復習をしたり、難問に挑んだりする余裕ができます。それぞれが個別最適な学びをしている時は、ざわざわしていても居心地がよいようです。



さて、我々教師はというと、教科書にない独自の専門知識が求められます。例えば、足が速くなる意外な方法、生き物が全て同じ大きさならサソリが最強説、松尾芭蕉は実は忍者だった説など。「さすが先生、勉強って奥が深くて楽しいですね。」と言わせたくて、我々も勉強し、自分をアップデートして楽しんでいます。

